

令和5年度 第4回吉野町教育振興審議会 会議録

日 程 : 令和5年5月19日(金) 午後7時00分～
場 所 : 吉野町中央公民館2階 第3研修室
出席者 : 奥田委員、杉村委員、吉寄委員、辻倉委員、田中委員、大矢委員、岩見委員、
山田委員、森本委員、中山委員
事務局
土居教育長、上林教育次長、山本、中前、玉置

1. 開会

事務局 皆様にはご多用の中、本会議にご出席頂きまして誠にありがとうございます。
す。

定刻となりましたのでただ今から、令和4年度から引き続きとなります
第4回の吉野町教育振興審議会を開催させていただきます。

私は教育振興審議会の事務局を務めます吉野町教育委員会事務局の次長上
林でございます。どうぞよろしくお願い致します。

本日は、令和5年2月27日に開催されました第3回吉野町教育振興審議
会に於いて、吉野町のこども園のあり方についての答申を頂いて以降の初め
での開催となります。年度が替わりまして新しく役職に就かれた方、新たに
当協議会の審議委員にご就任頂きました6名の皆様におかれましては、委嘱
状の伝達を行わせて頂くのが本来ですが、誠に恐れ入りますがお時間の都合
上、卓上にて委嘱状を置かせて頂いております。

また、本日オンラインでご参加の委員の皆様、欠席の委員の皆様には郵送
にてお渡しさせて頂いております。ご了承頂きたいと思っております。

それでは、開会に先立ちまして吉野町教育委員会教育長の土居がご挨拶申
上げます。

教育長 皆さん改めましてこんばんは。

この教育振興審議会、令和4年にスタートしまして昨年度一旦答申を頂き
ました。その答申を受けて、吉野町では総合教育会議を経て、答申の示して頂
いた通りの方向性で進むということが確定いたしております。

本年度はその2年目ということになります。もう一歩具体的な話に進むの
かなと思っています。教育の内容、保育の内容、あるいはあるべき姿的なこと
も含めて、園作りというのが本年度の課題と思っています。

話は横道に逸れますが、最近自分のパソコンにチャットGPTを導入してみ
ました。どんなものだろうと思って打つわけですが、例えば「こども園の適正
化についてどのようなデフォルトがありますか」と書いたら綺麗な日本語で見
事にたくさんの文字が出てきます。あるいは「5月なのに30度を超えること

をどう思いますか」というような質問でも、一瞬の時間に瞬く間に言葉が並んで出てくる。教育現場にいた時に、いろいろなところで「学びは変わるよ」とずっと言われてきたけれども、そう言っても基本は一緒だろうと思っていたのですが、チャット GTP を見た途端に、これからの子どもが学ぶべき教育内容って一体何なのかと本気で思いました。そうかこういうことを言われていたのかと、自分の認識もまだまだ浅かったなど、チャット GTP を体験したら思いました。そういう話に繋がるか繋がらないかは別にして、これからの子どもをどう育てていくのかという話というのは、非常に大切に重たいという認識を新たにさせて頂いたと思っています。

今年度、そういう教育的な内容まで触れる、あるいはもうちょっと具体的なところまで話がされる、保護者の皆様方からのアンケートやご意見もこの場に出されるというようなことも含めて、吉野町のこれからの子ども達にどのような教育をしていくのかということ、あるいは受けていくことが一番いいのかということが土台になって、いろいろな論議がなされていくのかと思いますので、何卒皆様方によりしくお願いしたいと思います。口幅たくく申し上げましたが、今年の夏ぐらいまでに三回あたりこの審議会の用意をさせて頂いていますのでどうぞご協力よろしくお願ひしたいと思います。

今日はこんな遅い時間に出にくいところですが、ご協力頂きましてありがとうございます。感謝申し上げます。よろしくお願ひします。

事務局 ありがとうございます。続きまして、奥田会長様にご挨拶頂きたいと思います。よろしくお願ひ致します。

3. 会長挨拶

会長 会長を務めさせて頂いております奥田と申します。どうぞよろしくお願ひします。本日は足下が非常に悪い中、また仕事帰りの方も多いかと思いますが、お集まり頂きましてどうもありがとうございます。

今教育長さんの方からお話がでましたチャット GPT、実は昨日大学で教授会というものがありまして、一番の議案になっていたのが、チャット GPT に関わってどう大学教育が対応していくかということで、国の方からもうすぐ指針が出るようですけれども、大学の場合、どうしても卒業論文であったり、試験とかレポートがすごく多いんです。それで従来であったら学生がいろいろな論文をコピーしてきて、自分のレポートのようにして提出してくるということの対応をどうするか、でもそれはあくまで論文を読んだ結果、良いところを取って自分のものにしていくということだから、ある意味学習の過程の話であって、僕はそれで学生に対して減点をするとかはあまりやってこなかったんですけども、今回のチャット GTP に関わっては「何とかについて」と打てば、模範的な回答が全部出てくるから、何の思考も働かずに単位を取っていくということが、今後いろんなところで起こってくるということで、自分達の教育をどう

するんだという話も、実は一部の教員から提起されていたところに昨日はおりました。だからやっぱり教育そのものが急速に変わるなど、AI社会がもうすぐ来るよと僕の授業で言っていたんですけども、それが本当に自分の仕事にここまで迫ってくるかと、それもこの短期間の内に、というのは思ってもいなかったことだから。教育そのものが変わっていく、これは大学教育だけじゃなくて高等学校に於いても、中学校に於いても、小学校に於いても、幼稚園に於いても、認定こども園に於いても、同じような事が起こってくる。土台が変わってくる様な時期に、我々は教育に携わっているのだな、と昨日の会議に出ていて正にそれを感じていました。その後それに対する対応の研修会も2時間程受けていたんですけども、そういう状況がある中で、我々も今どのように子どもに対する教育を行っていくかと言うことで、昨年度皆様方のご協力の下、認定こども園のあり方に関わる答申を出させて頂きました。

先ほど教育長さんの方のお話にもありましたように、本年度はそれを受けて具体的にどのような教育をするのかという具体策について、皆様方にいろいろ意見を頂いて、また学校現場の先生方からもご意見を頂くような場を作って頂けるようですので、皆様方で知恵を出して頂いて、より良い教育を行っていきたいと思っておりますので、本年度、昨年度に引き続いて委員を受けて頂いている方、また4月から新たに委員を受けて頂く方々、それぞれ受けて頂いた期間は違うと思いますが、本年度中に結論を出してより良いこども園を作りたいと思っておりますのでどうかご協力よろしくお願ひしたいと思ひます。

事務局 会長ありがとうございます。それでは、新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、ここで委員の皆様のご紹介をさせて頂きます。名簿順にお名前を申し上げますので、恐れ入りますがご起立の程よろしくお願ひいたします。オンラインで参加の委員の皆様方の紹介も併せてさせて頂きますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

——各委員紹介——

それでは規定によりまして、以後議事の進行は奥田会長にお受け頂きたいと思ひます。会長議事の進行よろしくお願ひ致します。発言の際にトークボタンが赤く光ってからご発言を頂きたいと思ひます。会長どうぞよろしくお願ひ致します。

4. 審議(1)

会長 それでは会議次第に従いまして進めさせて頂きたいと思ひます。

まずは[審議事項の1]「令和4年度の答申と令和5年度吉野町立認定こども園の将来的なあり方検討について」事務局の方からまず説明をお願ひしたいと思ひます。

事務局 【資料1】令和5年度吉野町立認定こども園の将来的なあり方検討

【資料1】をもとに説明……

教育長 今次長の方から基本的な話を抜き出して答申の内容を説明して頂きました。昨年度、委員をして頂きました委員さんにはこういう話をしたなど思い出して頂いているかと思えます。

まず1園化ということを進めるということが決まりました。では今年度はその中身について、より具体的なところを話し合いたいという年になります。ただ、今のまま何の構えもなく話し合いたいということではなく、一つ提案をさせて頂いて、その後に話し合いを始めて頂きましたらありがたいと思えます。

まず、「どこに」という話です。いろいろな案があるであろうと思えます。全然違う場所を用意して、そこに新たに建てるというような話でありますとか、あるいは、小中学校のところに建てたらいいのではないかなというような話でありますとか、いろいろな案が当然出てくるのでであろうと思えます。その中で現実的な話として、吉野町でこの方向性で進ませて頂けたらどうかという提案をさせて頂けたらと思っております。

現在、わかばこども園とよしのこども園2施設があります。その中でキャパシティ的には、よしのこども園がキャパシティ120ということでございますので、子どもの数、あるいは教職員の数を入れても十分まだ余裕がある様な状況になっています。施設の耐震診断、23年度の耐震改修という改修を経てきておりまして、まだ改修をしてから10年ちょっとしか経ってないというような事実もあります。

ただ、建物のそのものの築後によりまして、かなり時間は経って古いものになっているので、まだ今から20年・30年もちますということは言えませんが、耐震後まだ10年ほどしか経ってないということですので、後10年・15年は見込みとしてはもつのかなと思っております。

もしそうであるならば、子どもの数がまだ変化しつつあるこの環境の中で、慌てて今の子どもの数に合わせた施設を改めて土地を用意して建てるというのはどうなのかと。一旦今キャパシティのあるよしのこども園の施設を使わせて頂いて、そこで10年なり様子を見ながら、その時点の子どもの数に合った、あるいは保育の仕方ですね。保育や幼稚園の教育の仕方の形に合った、そういう施設を改めて作ったらよいのではないかと考えています。

新たに、例えばよしのこども園の改修をすると、どこか違うところに子ども達を避難させないといけないということがあります。また、新たな土地を用意するとなると、もう3年・5年では済まないと思えます。その間設計した物が、どんどん子どもの数のベースが変わってくるという様な事が起こりかねない、というようなところもありまして、あと10年は今の状況

のまま進めさせて頂いて、その時点で施設の方ももう一度考え直すのはいかかという提案をさせて頂きたいと思います。

もしこのことが目標、あるいは提案通りいくようになれば、これは割とできるだけ早く開園することが出来るのかなという風に思いますので、今ある資源を整理、あるいは光をもう一度当てるといような中で新しい園を構築して頂く、それがもしうまくいけば、目標令和6年度スタートというようなところも可能かなと。

これはどうしても話し合いが必要な場合、あるいは無理に何が何でも6年度スタートというようなことは思っておりません。ただ可能性としては、6年度スタートも可能かなと思うので、これは一つの目標として提案させて頂こうかなと思っております。

この二つの点がはっきりしていないと、中々話し合いにくいかなと思いますので、一応たたき台、提案として受けとめて頂きましたらと思います。

事務局 今教育長の申し上げた目標を基に、裏面の方にスケジュールということで出させて頂いております。

——スケジュールの説明——

会長 ありがとうございます。今事務局の方から提案がありました、あり方検討についてまず[資料の1]を示して頂いております。

まず表面の方で具体的な方策ということで5つの柱を示して頂いていること。例えばこれは昨年度の審議会でもいろいろなご意見を頂いて、そのようなかでまとめさせていただいた、一定の規模の子ども達の保育の体制を整える必要があるのではないかと、また、教員の組織もある一定の規模を持たないと、ある一定の保育や教育が維持できない等々のことで、5つの柱に具体的な検討を示して頂いてるのではないかなと思います。また2園においては先ほど教育長さんの方からご提案がありましたスケジュールについては、まずスタートとしては令和6年度を目標にしたいということと、あと施設面については、当面と言うことではありましたが、10年ぐらいを目処にということだと思いますが、よしのこども園の施設を利用することをご提案頂きました。

この内容についてまず、皆様方の方からご意見を頂きたいと思います。また、先ほど事務局の方からご説明がありましたが、その内容についてももう少し、このあたり説明頂きたいということがありましたら、こういった形でも結構ですのでご意見頂きたいと思います。どうでしょうか。

副会長 よろしいですか。今日初めて出席させて頂いたもので、ひょっとしたら前回の会議でも出た話かもわからないですけども、聞きたいことがありまして、よしのこども園で統合する話は、以前も伺ったんですが、さっきお話し頂いたようにキャパシティも十分あるだろうという話なんですけども、教育

財源になるのかわからないですが、近くに旧吉野小学校があるんですけども、もし、よしのこども園でということでしたらすごく近くなんですけども、どうされていくかという話も全く分からず、保護者から出てる話でもないんですけども、プールがあって、体育館があって芝生のグラウンドの広いのがあるのではないかと考えてまして、そういうことも、今後旧吉野小学校がどうなっていくか全然分からないんですけど、園と結びつけて考えていけるのかどうかと、思ったりもしたんですけども、遠い場所だったらあれなんですけど、園児だったらちょっと歩いて行くには遠いかも分からないんですけど、僕らだったらすぐそこかなと思うんですけど、そういうことでお考え頂いた事があるのかなと思ひまして話が逸れるかも分からないんですけど、一回伺いたいなと思ひまして発言させて頂きました。

会 長 ありがとうございます。そしたら事務局の方からお願いします。

事務局 ありがとうございます。具体的に旧吉野小学校をよしのこども園にしたかどうかという具体的な意見はこちらの方には届いてないんですけど、今旧吉野小学校につきましては、昨年度から民間の事業者さんに活用してもらえないかということで、北小学校と旧吉野小学校については公民連携室というものが新たに出来ておりまして、そちらで民間の事業者さんに事業提案をする方向で今準備しております。まだそこは具体策も決まっていませんし、オープンにはなっていないんですけど、方向としてはその方向で進みつつあるというところなんです。その事業提案の内容にもよりますけども、今のところ細くは分からないんで大きくはそういう方向で町は動いているというところになっています。

会 長 どうでしょうか。

副会長 統合する話が出た時に、よしのこども園と利用していくということはちょっと難しいですね。

事務局 0ではないですけども、事業者さん、民間さんのご提案ですので、こども園の入った事業を提案してくれたら大変ありがたいんですけど、今はまだ道筋がわからないところではありますが、可能性としては低いのかなというところはあります。

副会長 なるほどわかりましたありがとうございます。

会 長 よろしいでしょうか。

それではそれ以外でどうでしょうか。ご質問等、特に今年度新たに委員さんになって頂いた方々で、昨年の審議会で、こう言った議論とかあったのかとか。今の内容は実は昨年度の審議会では審議しておりません。どの場所で行うのかというところまでは、実は踏み込んだ審議を行っていません。あり方について検討するということでありましたので、そのあたりも含めて、またご質問頂けたらと思います。どうでしょうか。

最後のところで各委員さんの方から、一言今日の内容も踏まえてご発言

頂く場を設けておりますので、今回の審議事項1についても、何かありましたら、最後の場面で恐れ入りますが、一人3分以内でご発言頂きますのでその場でまたご意見頂けたらと思います。よろしくお願いしたいと思います。

5. 審議（2）

会 長 それでは次に[審議事項2]のほうに移っていききたいと思います。

 こども園の具体的な方策についてと言うことで、これは配布して頂いてます[資料2]に関わる内容について、それでは事務局の方からご提案、ご説明よろしくをお願いします。

事 務 局 失礼します。では私の方からこども園の具体的な方策について説明させていただきます。

 この方策につきましては、2園のこども園の保育教諭の先生方に参加頂いて、将来出来るであろう望ましいこども園について、先生達と具体的な提案を一緒に考えていこうという部会を始めております。まず一回目、昨日ですけれども専門部会を開催しまして、新しい園の保育理念や教育目標、目指す子どもの姿について話し合いをして頂きました。

 両園のランドデザインも付き合わせて、また吉野町の教育大綱の基本理念である「ふるさと吉野への郷土愛、愛着心あふれる人作り」というのがあります。また、小学校、中学校そして園も共通の教育方針として「学び考え探求する力、個性が輝く他者と共生する力、健康でたくましい心身、地域から学び協働する力」という方針もあります。それらを踏まえて、ではこども園ではどのように理念を立てて、そして目標を設定してどんな子どもを育てたいのかということについて、まずそれぞれの園ごとに意見を持ち寄って頂き話し合いました。

 いろいろな意見が出まして、二つを付き合わせて良いところを取っていけばよいのではないかというような意見、それとまた他に、先ほどはじめての教育長先生や会長先生の話にもありましたけれども、令和の時代、これから生き抜く子ども達にふさわしい全く新しい考え方を持った目標もいいのではないか、というようないろいろな意見も出まして、まだ本当に一歩ですけれども案をつくりました。また、次に6月の上旬、また6月の中旬と回を重ねて、いろいろな意見を戦わせながら決めていきたいと思っています。

 目標や子どもの姿が決まったら、今度は特色のある教育、保育内容について両園の取り組み、またその取り組みの中から残していきたいもの、続けていきたいものについて、先生方にご意見を頂きたいと思っています。それを経てもっと細かいところになりまして諸費や制服、それから教材、また通園の方法、園旗や園名などいろいろな事についてのご意見を伺っていききたいと思っています。これと併せて保護者の方にもご意見を頂きまして先生方と保

護者の意見を付き合わせながら、より良いこども園を作るために具体的な方策について考えていきたいと思っています。以上です。

会 長 ありがとうございます。それでは今説明頂きました内容でまず[資料2]の所の1枚目で、特に具体的な方策のグランドデザインを示して頂いていただいているのではないかと思います。そのデザインの基本となっているのが現在それぞれのよしのこども園、またわかばこども園で取り組んで頂いていてます教育内容が示されておられます。だから基本的にはよしのこども園とわかばこども園で今までやってきて頂いた教育理念を融合させて、よりよい教育をより高めてやっていきたいということで、具体的な方策を示して頂いてるのではないかと思います。それでは今説明頂きました内容について何かご質問等ありましたらお願いしたいと思っています。

よろしいでしょうか。オンラインで参加頂いてる方々もよろしいでしょうか。

…… 意見なし ……

審議 (3)

会 長 それでは続いて[審議事項3]保護者等へのアンケート調査についてということで、本来具体的な方策を考えるのは教育委員会事務局の方々は勿論そうですが、保護者の方々への意見聴衆、そしてまた、もうすでに始まっているワーキンググループの現場の先生方からも、いろいろご提案というような形で、三者で積み上げていって具体的な方策を考えていくという1つの柱になります。保護者等へのアンケートについて事務局の方からご提案お願いしたいと思っています。

事 務 局 [資料3]をご覧ください。

アンケートの目的、対象者、時期、内容等について説明をさせていただきます。

【資料3】をもとに説明……

会 長 ありがとうございます。今ご提案頂いた通り、特に3番から5番ぐらいまでが教育内容についてのご要望等と、それと6番が保護者の方々に直接ご意見を聞く項目、そして7番が教育委員会に対する希望とか要望、そして8番においては、1番から7番まででカバー出来ない部分については、8番で自由に書いて頂く、というような内容で構成頂いております。まず今頂いたこのアンケートの内容及び実施の時期等は、このスケジュールを考えると、事務局から提案頂いた時期に実際行って行かないとなかなか後のスケジュールとも関係があるのかなと思うんですけど、今ご提案頂いた内容について、何かご質問ご意見等ありましたらお出し頂きたいと思いません。よろしくお願ひします。

副 会 長 質問6の所の制服とか靴とかという所なんですけど、具体的によしのこども園とわかばこども園ではどれだけ違うんですか。具体的な話になるんですが、例えば帽子が違うとか上着が違うとか、教えて頂けたら、お願い

します。

会 長
事 務 局

ではお話し頂いた内容で事務局の方からご説明をお願いします。

[資料2]の方にも具体的に書いてあるのですが、体操服は形は一緒なんですけど色が違います。冬制服、制帽は全く違うものです。夏制服はよく似てるんですけども全く違います。リュックもリュックという形は同じなんですけど同じものではないんです。ですのではほんとに同じものが無い事になってます。

副 会 長
会 長

ありがとうございます。

よしのこども園の方が制服関係でいったら、わかばこども園よりも1万円弱くらい金額的には高くなっているという現状が今はあるって言うことですね。このあたりの金額等もふまえて今保護者の方々にご負担頂いている額を遙かに超えるような設定にはならないだろうと思いますので、今の現状の金額を踏まえてより良いものを作って頂くという感じでよろしいですか。

他どうでしょうか。アンケートに関わって6番についての質問を頂きましたけどもそれに関わっても結構ですし、それ以外の項目でも結構ですが。

よろしいでしょうか。オンラインでご参加して頂いている方々もよろしいでしょうか。

…… 意見なし ……

審議 (4)

会 長

それでは続いて[審議事項4]の方に移らせて頂きたいと思います。

[その他]ということで、先程少し触れさせて頂きましたが、まずそれ以外で何か提案事項ありますか。よろしいですか。

それではせっかくの機会ですので、先程も少し触れさせて頂いたんですけどもまだご発言頂いてない委員の方々もおられますし、お一人3分程度で恐縮なんですけども、今回の審議1から審議4までの内容で何かご意見とかご感想等等頂けたら、今後の運営にも役立つのかなと思っておりますので、それではこの審議会の委員名簿に従って私の方からご指名させて頂きたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

それではまず、今回はオンラインで参加頂いてますが、杉村委員さんの方からお願いしたいと思います。お願いします。

杉村委員

すいません先程アンケートの方で発言させて頂こうと思っていたら音が聞こえなくなって、お聞きしたいことがあります。一点だけお尋ねさせて下さい。

Q3の所の幼児期に特に身につけて欲しいところは何ですかというところなんですけども、この中で1から7番までの中ですと5番の「友達関係」というところが若干意味が分からないというか、他のものと少し異質

な感じがして、思いやりや協調性のことなのかなと、友達関係をこうすることなのかなとか、他のところは具体的な身につけて欲しいこととか習慣とかを意識しているのが分かるんですけども、友達関係って言うのが一体何を想定しているのかなと思って、お尋ねさせて頂きたいと思います。

会 長
事 務 局

そしたら事務局の方からいけますか。

保護者の方は、まず入園されたら友達が出来るとかというあたりをすごく心配されますので、この中にも協調性とかそのあたりでは重なってくるのですが、もう少し詳しく友達といろいろな事が一緒に出来るような子になって欲しいという言葉も挙げさせてもらおうかと思います。

杉村委員
会 長

はいわかりました。ありがとうございます。

もし杉村委員さんの方でこの友達関係って言うのをもう少し具体的に書くとしたら、何か表現とかご参考にするようなことございますか。

杉村委員

友達に限定する事かと言うことなんですけども、他者と関わる力とかです。園って友達だけじゃなくて先生とか、地域の方とか様々いらっしゃるんで、友達が一番子どもと関わる人物として主要だって事なら友達のままでいいんだと思うんですけども。

会 長

ありがとうございます。またその話も参考に頂きたいと思います。

杉村委員さん以上で大丈夫ですか。

杉村委員
会 長
吉 寄 委 員

はい、大丈夫です。ありがとうございます。

それでは吉寄委員さんお願いします。

教育長さんの方から場所と時期について具体的にご提案があったので、これからまたイメージしていきやすいのかなと思いますが、せっかくの機会なので新たな教育目標とか教育内容作りに、皆さんの意見を合わせて、より良いものになっていったらいいかなと思いました。

本日お示し頂いた[資料1]の中の③具体的な検討ということで、方策など書いて下さっています。その中で、今後考えて頂く時にやはり、人と直接関わることが、学校の教育内容や園での生活にあると思います。その中で具体的な体験を通して豊かな学びや感性が育つことで、先生に伝えたいという言語活動や伝える力に繋がっていく。園内でも園外でも、本物の体験が出来るとか保育内容をぜひ考えて頂けたらいいのかなと思いました。

それから④のこども園と小学校のさらなる連携というものにもかかっていましたが、どのようにしたら今ある小中学校との連携が、場所は離れてるけど可能になったなと思った時に、先生方同士の交流も大切だと思います。そのためにも子ども達が行き交うような行事になるのか、年間の中で計画があるのか、あるいは異年齢交流ということを経験した小学校6年生まで、中3までというように考えた時に、行き交うような交流の中で、先生方も小学校の理解に繋がるし、こども園の理解にも繋がるしということ

で、何か直接的な連携、交流があるのかなと思いました。

それと⑤のせっかく吉野町で一つの園に集約されるとなれば、このQ7の選択肢にはないんですが、おそらく地域と繋がったこども園があるということは、子ども達にとっても郷土愛は育つと思うんですが、保護者の方が離れたところで生活しておられて、保護者の方同士の繋がりというのを意識的にしていけるような園の取り組みになると、この地域で生活していきやすくなるなど、保護者の方が考えられるのかなという風に思いました。

漠然としてですが、今はこの3つを拝見して思ったことです。今後ともよろしく願い致します。

会 長

ありがとうございます。先程も本物の体験という言葉もありましたが、子ども達同士の繋がりがまた、先生方同士の繋がりが、また今度は保護者同士の繋がりが、こういった繋がりを大切にする具体的な方策をとというご意見を頂きましたので、またご参考にして頂けたらと思います。

辻倉委員

それでは辻倉委員さんお願いします。オンラインの参加になります。

先程からお話にも出てきておりますけども、幼小であったり小中連携というお話もお聞かせ頂いたんですけども、どのような交流が出来るかっていう可能性も含めその交流に対して、質の向上という点で県と致しましては、先生方の要請を受けて研修に伺って助言支援をさせて頂く機会が多いのですが、県内で適正化が進む中で例えば町村に1園であったり1校であったりという実情もかなり多くなってきている中で、その1校なり1園なりのその中の研修ではそれなりの中身はあるものの、もう少し地域の垣根を超えた研修の機会があれば、より一層学びに繋がっていくのではないかとこのところも言われているところであり、吉野町さんのこの素敵な学び、考え方でわかば、よしの両園の是非残したい特色ある教育であったり保育の優れたところであったりを、他の地域にも発信して頂くという意味においても、より広い地域を見据えた体制をこの機会に考えて頂ければいいのではないかなと感じながらお話聞かせて頂きました。よろしく願い致します。

会 長

ありがとうございました。特に本日ご出席頂いております辻倉委員さんは県教育委員会の指導主事様ということで、そういった観点でご指摘頂いたのかなと思いますので、吉野町での取り組み、また吉野町と他の市町村との取り組みで、より良いものをより目指して行くというような観点で、今後とも教育委員会の皆様でご指導頂くことも多いと思います。ありがとうございます。

それでは次、田中委員さんよろしく願いしたいと思います。

田中委員

僕は10年くらい前にわかば幼稚園の育有会会長をさせて頂いてまして今久しぶりに幼稚園のことだったので懐かしいなと思ってます。

さくら学園が出来る前はわかばと小学校と一緒に運動会をやっていて、それがすごく交流になってたなと思うんですけど、今さくら学園が出来てから一緒に運動会はやらなくなったんですけど、やっぱり交流事業は必要かなと思いますね。

それと場所が変わると言うことで、遠くなる子もいるので、そしたら通学のバスがどうなるのか、しっかりスムーズにいくように考えて頂いたらなと思ってます。

会 長

ありがとうございます。

交流と言う観点と、また1園になるって言うことで、通学時間等で特に長くなる子もいるということで、事務局の方でも十分考えて頂いているかなと思いますが、どうかよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございます。

そしたら大矢副会長さんお願いします。

副 会 長

今日は色々質問させて頂いて、初めてで知らなかったこともご説明頂いてありがとうございました。

始めに吉野小学校について話を聞かせて頂いたんですけど、去年こども園で親子の集いというものをやってまして、保護者も子どもも一緒に交流するというものなのですが、それで吉野小学校の芝生の所を使わせて頂いて一日子ども達と遊んだところ、芝生がいいなということがありまして話をさせてもらっただけなんです。

僕には子どもがおりまして、今上の子が中学生なんですけども、まだ3歳の子や5歳の子もおりまして、ずっとこども園に通わせてもらってたんですけど、3歳から考えると5歳が終わる時にはずいぶん子どもは成長して、リレーとかも全然違うし、そういうところで大きくなったな次はまた小学一年生なるな、なんて思いながらこども園を順番に卒園させてもらってたんですけども、すごい園の教育がいいなとどの子も小学校上がる時思うことがありまして…いいなと思ってます。

アンケートの7番のところにもあるんですけど僕もいろいろな保護者と話したり交流したり、そういう意見を出し合ったりというような時もありまして、親の立場で見ていくと子どもの教育とちょっと違う話かも知れないですが、今やっぱり時代というのですか、お母さんが働いていて、お父さんも働いていて、もしくは親の方がシングルだったりとか、いろいろ今の時代の事情があって、子どもを見てもらえる時間だとか仕事にもよるんですけど、土日とか見てもらえたら良いなと、いろいろそんな話もあったので、また立場が会長にならせてもらってるのでいろいろな保護者の話も聞くとお思いますので、今後ともこの場でこういうような話を挙げさせてもらおうと思います。よろしくお願ひします。

会 長

ありがとうございます。

もちろんそのアンケートも取って頂きますが、今まさにこの委員さんになって頂いている方で保護者の方々も複数おられますので、こういった中でもまたご要望等頂けたらと思いますのでよろしくお願いします。

それでは本日オンライン参加になりますが、岩見委員さんお願いします。

岩見委員

私的には今わかばこども園に長男が年長でお世話になってます。

わかばこども園はよしのこども園に比べて人数が少ないと。今でも同学年が年長組で5名、年中が3名、年少3名ということで、合わせても10名ちょっと超えるくらいになっていて、ここの良かったなと思う点がありまして、それは子どもに聞いても日常的に自由な時間に好きなことをして遊んでみたいで、いろいろな教室に行って自由な交流の時間をつくって頂いてるのかなというところがあります。今社会的にも少子化が進んでるんですね。3人兄弟がちょっと珍しいくらいで、一人の子どもがどんどん珍しくなくなって来るかもしれない中、下の子を持つ経験とか、お兄ちゃんの経験がすごく大事なんじゃないかなと社会生活を送る中で思うので、一つになる時にもそういう縦割りの良さと言うのを継承して頂けるような取り組みをお願いします。

よしのこども園が現状どうなってるか分かりませんが、そこも視野に入れて、また新しいそういう交流みたいなのを継承して頂ければ僕らとしてありがたいかなと思います。よろしくお願いします。

会 長

ありがとうございます。

今わかばこども園で取り組んで頂いている内容も、もちろん新しいこども園で引き継いで頂くことになると思いますし、また今よしのこども園でされる内容も、そういう形になってより良いものをつくっていくという形になろうと思いますので、そのベースとなるのがよしのやわかばでの今行っている実践の内容が基になろうと思いますから、そう言った観点もまた検討させて頂きたいと思います。ありがとうございます。

それでは山田委員さんお願いします。

山田委員

今ご意見があったように、わかばこども園、それからよしのこども園それぞれで取り組まれている事を大切に、新しい吉野町立のこども園の具体的な方策を立てていくということになりますが、その具体の方策の基で育ってきた園児達が、小学校へ上がって来て、小学校の教育を受けて中学校の教育を受けるという吉野町の形というものが具体的に見えて来たかなと思います。その中に小学校も入れてもらっておりますので、吉野の子ども達を受け入れるということで、責任ある立場として望んでいかなければならないなど…。こども園の会議なんですけれども、未来のその先に繋がっていく小学校があるんだということで責任を感じてるところです。

幼児期の学びから児童期の学びへ繋げるため、園小の連携という話があ

りまして、その質の向上ということ、これを機にまた改めて考えていかなければならないと思います。現在、園と小学校の連携についてこういうことをやっていますということを少し紹介させていただきます。

実は今日も、園小の連携の活動に取り組みました。こども園の先生に小学校の一年生の授業参観に来て頂きました。そして授業が終わった後には、久しぶりに園の先生が教壇に立って、ペープサートでお芝居をして下さるということで、一年生の子達も懐かしいなと一ヶ月前の風景を思い出しながら見てたのかなと思います。

一年生の子ども達が帰った後は、園の先生方と小学校の一年生の担任とそれから私も入ったんですけども、今の一年生の状況、それから令和6年度、どのような子ども達が一年生として上がってくるかという情報交換などを行いました。またその取り組みも教育委員会の中前先生を中心にして年間を通して数回情報交換し終わった後、一年間のまとめという形で年間の成果としてあげさせてもらっています。

実際の園児と小学生との交流ですけれど、10月くらいに1年生が秋祭りを行う授業を実施したところにこども園の年長さんを招待するという事で交流しています。

そして2月に体験入学をする時に、実際の授業を体験してもらおう。実際に来てもらった時に相手をするのが5年生になります。園児が1年生になった時に6年生になる子達が、実際に来年こういう子達が来て、そして自分達が中心になってお世話するんだなという意識付けをさせるということで、5年生と遊ぶということ、そして5年生に校内を案内してもらおうとか、そのような交流を今しております。

これに加えて更に出来ることはないかということ、また考えていくという今回の審議会の良い機会にもなってるのかなと思いますので、小学校で勤務してる者として、この機会を十分に活用させてもらって皆さんの意見を参考にして園と小学校の連携の向上というものを考えて行きたいと思いました。ありがとうございました。

会 長

ありがとうございます。

もう既に小学校とこども園でこういった連携をして頂いていると言うことで、それが新しいこども園になったらより一層その関係を強めて頂く形になろうと思いますので、またよろしくお願ひしたいと思います。

それでは森本委員さんお願いします。

森本委員

昨日、両こども園の先生方で新しい園の教育目標をどんな風にしようとか、どんな子どもに育てたいかということをお話したんですが、実際今それぞれの園で願ってやっっていること、それは言葉が違っても同じ内容になってくるので、それをもう一度2園で確認し合っって新しいものをつくるという話の内容になりました。

自分達も普段からそれぞれ園の目的、目標とか研究テーマとかを意識しながら保育、教育をしてるんですけども、今こうやってお互いの園の内容を改めて言葉にして話をしたことで、更に今自分達がどのようにしたら良いのかなということを再確認する機会を頂いてるなど先生方と話をしていきます。

また、保護者の方からも今ご意見がありましたけども、今のこども園のいろいろな体制を続けてやっていって良いのかどうかということも考え直す機会なのかなと思いますし、土日の保育の希望とかということもありましたけれども、園の方にも実際1号認定の園児が67人中5名ということで、3歳児の17名は全員保育を必要とする子どもなので、幼稚園の1号の子どもは、2時降園なんですけれどその2時に行う帰りの会を今は4歳と5歳だけがやっています。3歳のクラスは誰もその時間に帰る子どもがいないので、帰りの会はまた時間を少しずらしてやっています。そういったところも新しい園ではどんな風な形にしていくのかということを考えるいい機会にもなっていると思います。

子どもも保護者の方も様々な考えの方とかタイプの方がいらっしゃいますので、そういった方にどれだけ丁寧に関わられるかという自分達の質の向上、ほんとに今、不適切な保育ということもよくニュースで言われているんですけども、ジェンダーフリーのことも本園の方では結構話題になっています。そういう事も含めてもう一度両園の先生方と今の課題についてもしっかりと話し合っ、新しい園ではどんな風な考えをして関わっていくのかということに詰めていきたいなと思っています。また皆さんのご意見も頂けたらと思いますのでよろしくお願いします。

会 長

ありがとうございます。

お子さんの置かれた現状であったり、また保護者の方々のそれぞれの事情がありますが、そう言った内容も十分お考え下さって、また良い内容を、特に専門部会でいろいろご意見を出してもらえたらな、と思いますのでよろしくお願いします。

それでは最後になりましたが中山委員さんお願いします。

中山委員

わかばこども園は平成27年から幼稚園型のこども園としてスタートして当初30名いたと次長さんの説明にもありましたが、だんだん年数が経つうちに今11名になってしまいました。

よしのこども園の園長先生が言われた1号認定、2号認定の方なんですけど圧倒的に1号認定が多くて、11名の内3名は2号認定であとは1号認定、いわゆる昔の幼稚園を希望する保護者の方が多い体制になってます。その中で岩見さんが先ほど自由に交流できるようにと、それは前年度の時も教育振興審議会でお話してるように、1つの学年が3名、4名ということで、いろいろな考えに関わる機会が少なくなっている。そんな中でどう

していこうかというところで、職員と話し合っって異年齢活動を取り入れて、自由遊びの中で活動を取り入れていろいろな考えに関わる機会をつくらうということで取り組んでいます。また給食が終わった後も異年齢で関わって、どの部屋に行っても良いよという感じにさせて頂いています。そんな中でやっぱり5歳児は3歳児、入園してまだ2ヶ月なんですけども見てあげなくてはいけないというか、お世話をする姿も見られます。先日遠足に行った時も2列で手を繋ぐのですけれど、1人の3歳児が「手を繋ぐのいやや」と言っって手を繋がなかったんです。そこで5歳児が一人になってる3歳児をどうするのかなどというふうになったんです。その3歳児の気持ちが落ち着くまでずっと待ってるんですね。そんなことを考えるとそのような中で学びがあったり、気持ちをいたわったりする力が養われてるんだなっって思っ事がありました。

少人数でメリットもあるんですけども、やっぱり多くの意見やそんな考えに触れるが機会少なくなっって、考えが固定化されてしまう危険もあるので、大勢の中で育てる。高校大学に行くにつれて大きな所に行くとなると小さい時からいろいろな考えに触れることが大事なんかなっって私は思っっております。

またこんな機会にいろんなご意見頂けたらと思っます。

会 長

ありがとうございます。

特にわかばこども園の現状であり、お子さんの数が少ないという中で、やっぱり工夫した保育っって言うんですかね、教育をして頂いてるという部分で、またその実践を新しいこども園でも何らかの形で引き継いで頂いて、それぞれの園の良いところをより集めてもっと良いこども園を作っっていくような具体策を皆様方と一緒に作っって行きたいと思っます。どうもありがとうございます。

それでは本日ご出席頂きました皆様方からご意見等頂きました。以上で予定していた審議事項終わりましたので、事務局の方に交代させて頂きたいと思っます。

事 務 局

奥田会長、見事な審議進行ありがとうございました。委員の皆様におかれましてもまた貴重なご意見本当にありがとうございました。閉会に当たりまして教育長一言お願いします。

教 育 長

結構いろいろな白熱と言ったら良いのか、いろいろなご意見を賜ることが出来ました。気がついたらもう1時間半近くになるんだなど、時間を忘れるような内容の濃さであったかと思っます。

最初に提案させて頂きました通り目標として進ませる頂きたいと思っことが一つと、それから今いろいろなご意見を聞かせて頂きました。わかばこども園の校区と、よしのこども園の校区の子どもの数を比較したらそんなに大きな違いは無い。逆に言うとなわかばこども園の校区の方が実は子ど

もの数が多いという現状がある。ただ幼稚園型こども園なのか保育園型こども園なのかというこの違いが、これだけの人数の偏りを生んだというような現実を目の当たりにしていると思います。このことは約5年から7年前くらいの数字と今の数字を比べるとその偏りが非常に強くなる、急激な変化の時期になっていて、この吉野川沿いというのは子どもの数そのものも急激に減っていることは間違いないんですけれども、かといってわかばとよしの違いってというのはそういう所が原因ではなくてやはり家庭のそれぞれの形が変わって来たんだと思わせてもらいました。

幼稚園型でいいますと、3時に帰ってくるわけです。3時に子どもを受け入れて、その後昔だったらおじいちゃんおばあちゃんが育ててくれたりとか、お母さんが家にいたりとかしたのがそうではなくなって来ているというこの変化の激しさというか、急激さというものを目の当たりにさせていただきました。その結果、少しこれは急いで1園化した方が良いのかなという様な発想に繋がっているという事でご理解頂きましたらと思います。

あと2回ですね、このような充実した議論を進めて頂きますこと期待して、本当に本日は感謝の言葉もございませんが、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。どうもありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。

次回の審議会は7月下旬を予定しております。事務局では本日頂きました貴重なご意見を基に、またアンケートの配布回収分析を行いまして、次回の審議会であり方の方策の素案をお示しできるよう作業を進めて参ります。素案の内容の見通しが付きましたら、なるべく早い段階で第5回審議会のご案内をさせていただきますのでどうぞよろしくお願ひ致します。それではこれを持ちまして第4回吉野町教育振興審議会を閉会致します。本日はありがとうございました。